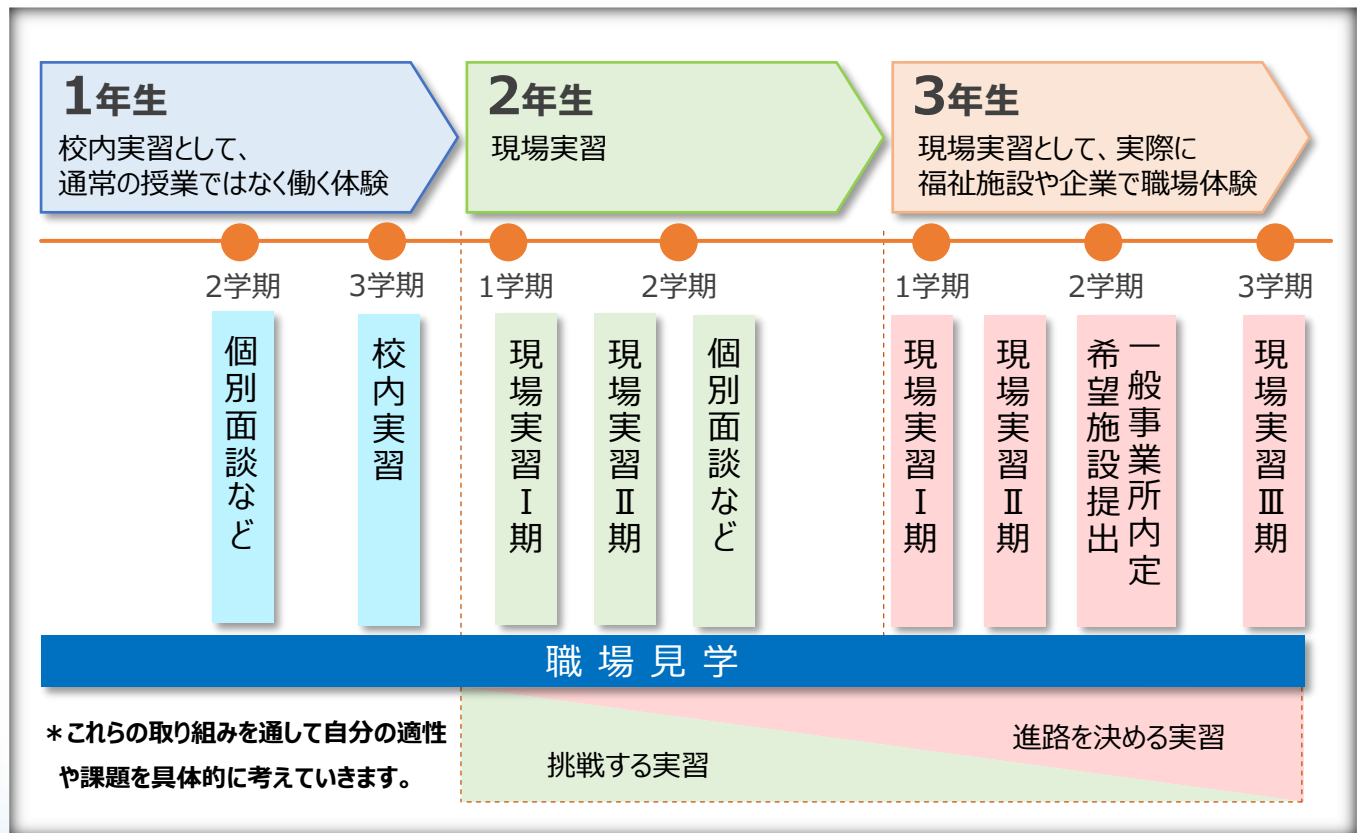


進路指導・校内実習・現場実習



校内実習

1年生は1月下旬、2年生は6月中旬に、校内実習を2週間実施します。校内実習では、様々な物品の組み立て・封入・解体等の作業を行います。企業からの注文を受けたり、福祉施設等で行っているものと同じ作業を行ったりすることで、より実際の職場体験に近い形で取り組んでいます。

この実習をとおして、生徒・保護者・教員が「どんな力があるか、どんな仕事が向いているか」を考えていきます。

校内実習目標

1年生（1月2週間）

- ① 働くルール
(挨拶、身だしなみ、報告・連絡・相談など)
- ② みんなと協力して作業する姿勢
- ③ 長時間、長期間働く経験

2年生（6月2週間）

一人一人の課題に沿って取り組み、Ⅱ期の実習の準備をする。



進路指導・校内実習・現場実習

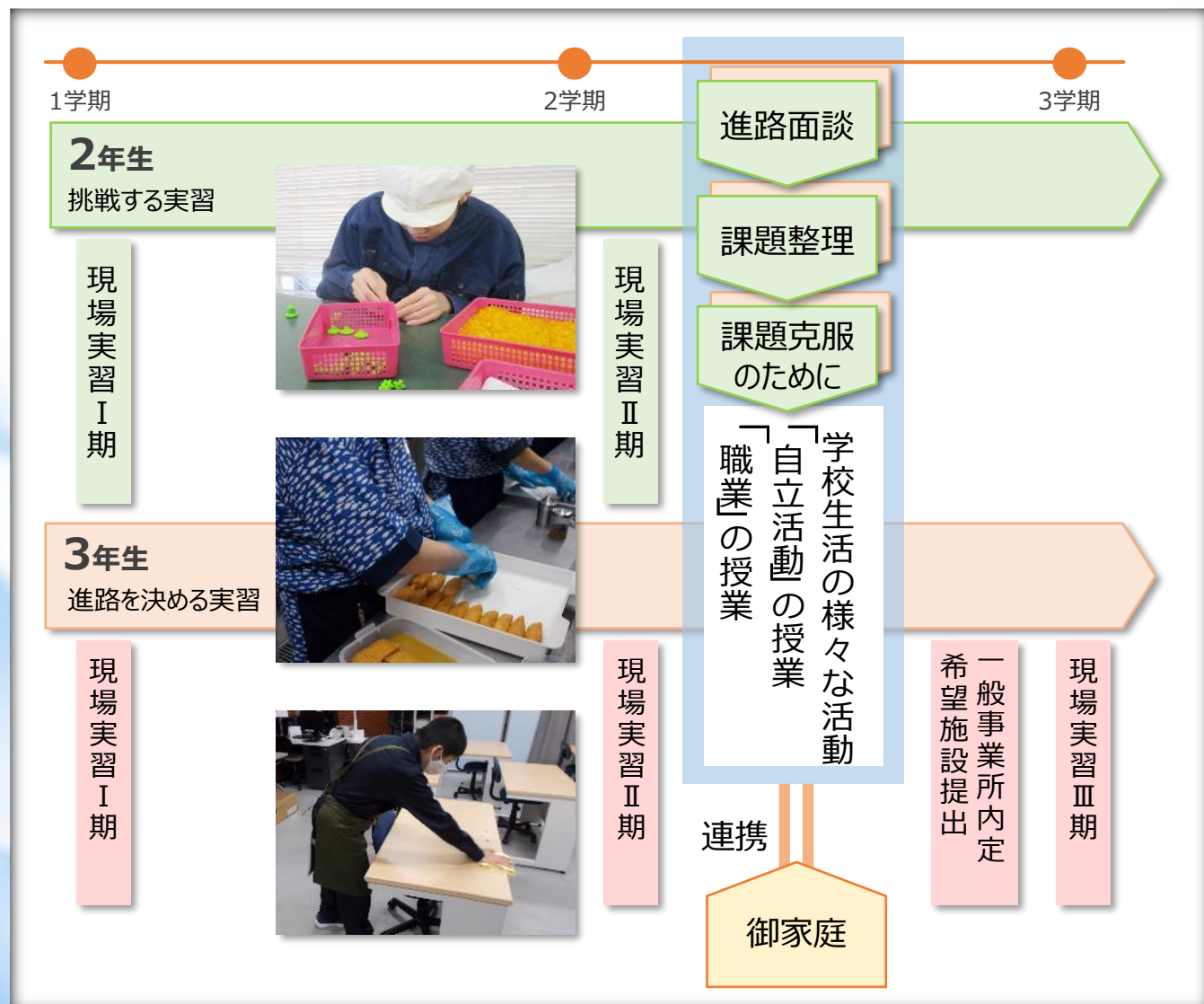
現場実習

2・3年生になると学校を出て実際の職場での仕事体験となります。

2年生の現場実習は「挑戦する」実習、3年生の現場実習は「進路を決める」実習です。

実習の評価は進路面談で説明します。実習を踏まえ「職業」や「自立活動」の授業など学校生活の様々な活動をとおり課題を克服していきます。進路指導にあたっては担任と進路指導担当が連携して取り組みを行います。生徒本人ができたこと、今後、更に頑張る必要があることを意識し、進路指導担当や御家庭と連携をとりながら進める「情報を十分に共有した進路指導」を目指しています。

以上のように進路指導・職業教育を充実させることで、自信をもって社会人としての一步を踏み出し卒業後の生活が始まります。



進路状況

令和7年度の卒業生の進路状況を御紹介します。

令和7年度卒業生の進路状況

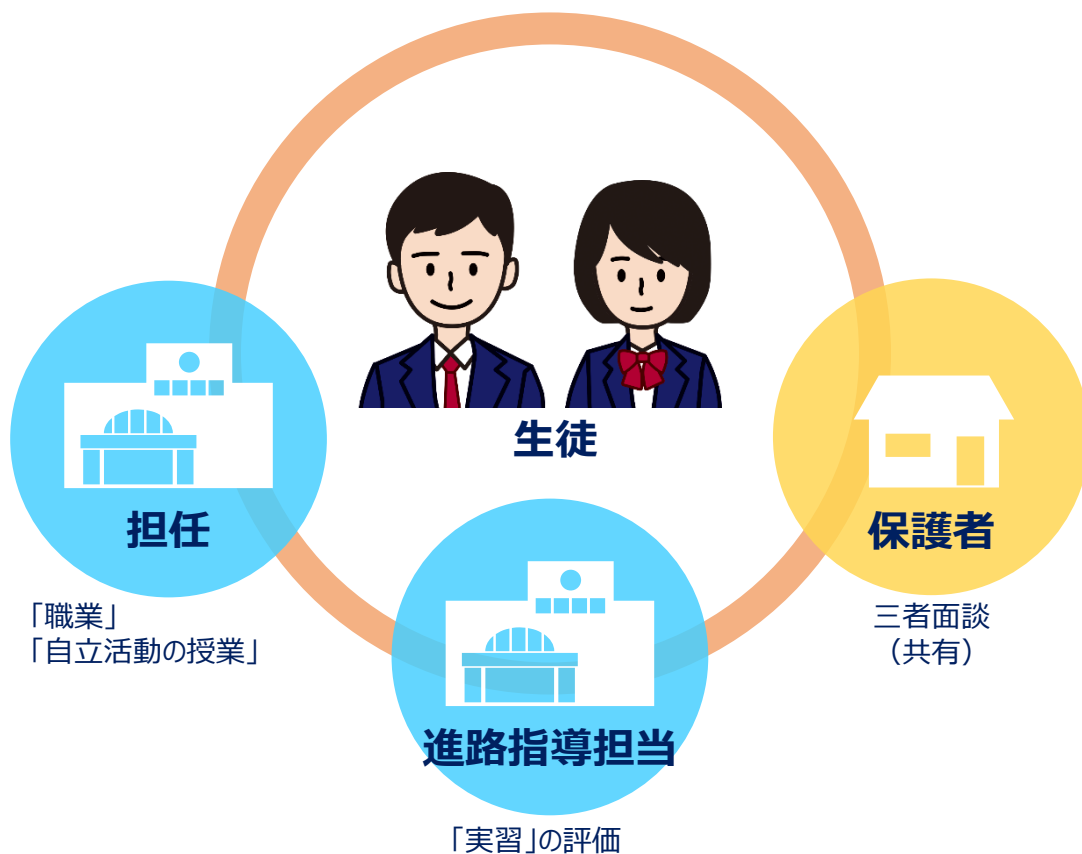
46名の卒業生のうち、28名が福祉的就労をしています。就労移行支援事業所では卒業後1～2年間で一般就労を目指しています。最近では、就労継続支援B型で一定期間働く力に身に付け、その後一般就労を目指している施設もあります。

生活介護は区の施設利用枠に空きが少なく、福祉課の情報をいち早くお伝えできるように学校では努めています。

令和7年度 卒業生数	46名
一般事業所	14名
就労継続支援A型	0名
就労移行支援	3名
就労継続支援B型	6名
生活介護	18名
自立・生活訓練	1名
その他	4名

事務系	1名
製造作業	1名
物流	1名
小売販売店舗 バックヤード	3名
飲食店舗厨房補助	1名
サービスの諸作業	7名
合計	14名

家庭と連携した進路指導



卒業生の進路状況

令和5年度・6年度卒業生の進路状況

令和5年度、6年度の進路先です。本校では、卒業後3年間は進路に関するアフターケアを行っています。卒業後も進路担当や担任が一般事業所や福祉事業所へ足を運び、定着支援を行い、卒業生が安心して働き続けることができるように、職場の方と連携して取り組んでいます。

高等部での3年間は、御家庭でも卒業後の社会生活を思い描きながら様々なことに挑戦していただきたいと思います。

私たちは、生徒本人・保護者の未来への思いを受け止めながら、御家庭と協力して目標に向かって歩んでいきたいと考えています。

	5年度	6年度
一般事業所	11	10
就労移行	5	7
就労継続A型	0	0
就労継続B型	7	6
自立・生活訓練	2	6
生活介護	15	11
進学等	0	0
その他	3	3
合計	43	43

	5年度	6年度
事務系	1	2
製造作業	2	2
物流	0	2
小売販売店舗	4	1
飲食店等	1	3
サービスの諸作業	3	0
合計	11	10

卒業生はこのような仕事をしています

事務系	特例子会社でパソコン入力を含む事務補助や、シュレッダー回収業務などの軽作業
製造作業	工場でのライン作業
物流	倉庫内作業、段ボールの組み立て、ピッキング作業
小売販売店舗	スーパーでのバックヤードや品出し
飲食店等	食器洗浄や仕込みなどの厨房作業や店舗での下膳
サービスの諸作業	ビル清掃や介護補助



卒業生の講演会

一般事業所業務内容の一例を御紹介



オフィスでの事務作業



工場でのライン作業



量販店倉庫での納入作業



スーパーでの品出し作業



就労移行支援事業所での作業



就労継続支援B型施設での作業



ビル内での清掃作業